

《目次》

【診療科・部門紹介】

- ▶▶ 呼吸器内科
- ▶▶ 口腔保健科
- ▶▶ 整形外科
- ▶▶ 歯科総合診療部

- 看護部教育委員会
- 錦江湾魚ごよみ

- 病院再開発 新病棟の間仕切り設置工事

理念

鹿児島大学病院は、21世紀に輝くヒューマン・トータルケア病院の構築を目指し、医療人の育成及び医学・歯学の研究の充実と発展に貢献すると共に、常に患者さん本位の原点に立った、質の高い医療を提供します。

基本方針

1. 患者さんの権利を尊重し、安心して安全な納得のいく治療を心がけます。
2. 質の高い医療、先進的医療の充実を図り、地域の中核的医療機関として貢献します。
3. 教育・研修病院として、地域の医療機関との連携を図り、人間性豊かな使命感にあふれる医療人を育成します。
4. 診療を通じてわが国の医学・歯学の研究を推進し、医学・歯学及び医療の国際貢献を目指します。
5. 安全で効率の高い病院運営体制を確立します。

患者さんの権利と責務

〈患者さんの権利〉

1. 良質な医療を公平に受ける権利
2. 人としての尊厳を尊重される権利
3. プライバシーや個人情報保護される権利
4. 自分の状態や診療内容について説明と情報提供を受ける権利
5. 自分の意思で医療を選択する権利

〈患者さんの責務〉

1. 自分の健康状態についてできる限り正確な情報を提供する責務
2. 当院の規則を守り、迷惑行為を慎む責務
3. 診療費を速やかに支払う責務

呼吸器疾患の診療にあたる

呼吸器内科

鹿児島県は、気管支喘息や肺癌、COPD（肺気腫・慢性気管支炎）、肺炎などの呼吸器疾患の死亡率が全国でも常に上位を占めていますが、以前の鹿児島大学病院では、呼吸器疾患に対する診療を含め、教育・研究を、それぞれの旧ナンバー内科が別々に行っていました。しかし、大学病院の臓器別再編の流れに伴い2010年6月に呼吸器内科学講座が新しく発足しました。初代教授として着任にされた井上博雅教授のもと体制を整え、一致協力して呼吸器疾患に対しての診療にあたっています。

診療では、気管支喘息やCOPDなどの閉塞性肺疾患、肺癌などの悪性疾患、肺炎や肺結核などの感染症、間質性肺炎など幅広い疾患を対象にしております。昨年はマスコミ等でも話題になった食物依存性アレルギーに関しての外来紹介も多数ありました。

鹿児島県は2009年まで喘息死亡率が本邦でワースト3に入っていましたが、呼吸器内科発足後の2011年から余裕をもってこの不名誉な記録を脱却し、順位を上げております。まだ創立3年目を迎え、歴史が始まったばかりの鹿児島大学呼吸器内科ですが、今後さらに質の高い診療を行いつつ、大学の使命である医学教育と世界に発信できる研究を行い、鹿児島県の呼吸器疾患診療の発展に貢献したいと思います。

お口の健康から全身の健康へ

口腔保健科

口の中の細菌が肺炎など重い全身の病気の原因になることがあるのはご存知ですか？ 人の口の中には数百種類の細菌がいると言われております。歯垢はその中に1グラム当り数千億個の細菌を含み、むし歯や歯周病の直接的な原因であると同時に糖尿病や動脈硬化、心臓血管障害などを引き起こすこともあります。手術後抵抗力が下がり口の細菌が肺に入ると肺炎を起こしやすくなります。また、化学療法や放射線治療でも免疫力が低下し口内炎などのトラブルが起こります。さらに骨粗鬆症治療薬を飲んでいる場合、顎の骨が壊死することがありますし、妊娠中では歯周病が悪化することもあります。口腔ケアを行った結果、誤嚥性肺炎の予防、術後合併症の軽減、入院期間の短縮などの効果が報告されています。当科では内科的な治療を受けている患者さんや外科的な手術前後の患者さんに対して、医科と連携を取りながら口腔ケアを行っています。基本的にはむし歯や歯周病のチェック、粘膜や舌の状態の確認、セルフケア指導、専門的口腔ケアを行います。しばらく歯科を受診していない方、お口の状態が気になる方は是非一度口腔ケアを受けられることをおすすめします。入院中または通院中いずれにも対応いたします。(TEL 099-275-6650)



頬の粘膜に多発した口内炎



抵抗力の低下により舌にできたカンジダ

超高齢化社会における 皆様の健康で質の高い生活維持のために

整形外科

整形外科では身体の運動に関わる全ての組織(運動器)を対象として治療を行っています。そのため最近では「運動器科・運動器外科」という名称も広く使われるようになってきました。この“運動器”には骨や軟骨、筋肉、靭帯、神経などが含まれ、そのため取り扱う「部位」「病気の種類」などは多岐にわたっています。これら運動器に関わる多種多様の疾患に対応するために、鹿児島大学附属病院整形外科では20名前後という数多くの医師が診療にあたっています。また、スタッフの医師たちは各人が高度な専門性を有しているのみならず、皆様に少しでも良い医療を提供できるように常に最新の医療技術を取り入れながら、各々の患者さんの状態にあわせた治療を行うよう心がけています。

近年では少子高齢化の加速に伴い「立つ」「歩く」「物をもつ」といった、日常生活を営むための基本的動作に支障をきたすご高齢の患者さんが増加しています。このような動作は日常生活を維持するためのみならず、健康で質の高い幸せな生活を維持するためにも重要です。この障害の原因としては加齢による骨の量の減少や筋肉の衰え、背骨や関節の変形などがあげられ、さらにこれらに起因する転倒や骨折などがあります。実際に、現在では75歳以上の寝たきり介護の五分之一以上が運動器の障害によるものです。旅行や趣味やスポーツなどを含めた健康で質の高い生活を維持するためにも、運動器に何か不安のある方や、腰痛、肩こりに加え股関節や膝関節などの関節の痛みでお困りの方は是非一度ご相談ください。大学病院の整形外科をはじめ受診される方(初診)は、毎週月曜日・水曜日の午前8時15分～午前11時までの受付です。予約は特に必要ありません。皆様の来院をお待ちしています。

<初診受付> 毎週月曜日・水曜日 午前8時15分～午前11時 (予約不要)
整形外科外来 TEL 099-275-5840



人工関節置換術の手術風景
細菌の感染を防ぐためにクリーンルームを使用し、特別な手術着を着用して手術を行います。



内視鏡を使用した椎間板ヘルニアの手術風景
2cm程度の傷ですみます。

初めて歯科を受診される方を サポートする

歯科総合診療部

大学病院歯科をはじめて受診される時、紹介状をお持ちでない、どの科を受診したらよいかわからない方は、歯科総合診療部にお越しください。話をお聞きし、簡単な診察を行って、症状やご希望に応じて最適な診療科をご紹介します。痛みや不安を抱えて受診される皆様に気軽にご相談いただけるよう心がけています。

歯科総合診療部では、一般的な歯科疾患を中心とした診療も行っています。複数の診療科を受診する必要がなく、一つの科で、むし歯・歯周病・差し歯や入れ歯など、お口全体の総合的な治療を受けることができます。患者様にとってよい治療を行うために、じっくり診察して治療方針を立て、スケジュールを含めた治療計画をご説明し、患者様と一緒に治療方針を決定して治療を行います。また、お口の健康管理として、「検診を受けたい」「お口に合った歯磨きの方法を知りたい」「歯のクリーニングをしたい」などのご要望にもおこたえします。

歯科受診に関してのご相談にも対応いたします。

<初診受付> 8:30~16:00

* 大学病院を初めて受診される場合、紹介状のない方は、3,150円(保険外併用療養費)がかかります。

歯科総合診療部 TEL 099-275-6605

TOPICS

平成24年度 病院長表彰式

平成25年1月4日、鶴陵会館において病院長表彰式が行われ、病院長より、平成24年度に経営改善等の実績のあった診療科等に、経営改善賞、手術実績賞、経営改善特別賞、医療安全・業務改善部門賞、入院診療録部門優秀賞の5つの賞が授与されました。(被表彰診療科等については、以下のとおり)

経営改善賞

外科部門 (1位) 脳神経外科、(2位) 乳腺内分泌外科、(3位) 消化器外科
内科部門 (1位) 血液膠原病内科、(2位) 呼吸器内科、(3位) 糖尿病内分泌内科

手術実績賞

(1位) 耳鼻咽喉科・頭頸部外科、(2位) 呼吸器外科/婦人科、(特別賞) 麻酔科

経営改善特別賞

看護部門 (1位) 5階東病棟、(2位) 5階西病棟、(3位) 4階東病棟/9階東病棟
歯科部門 (1位) 口腔顎顔面外科、(2位) 顎顔面放射線科、(3位) 保存科、
(特別賞) 冠・ブリッジ科

医療安全・業務改善部門賞

インシデント報告 (1位) 8階西病棟、(2位) 薬剤部、(3位) 6階東病棟
医療安全活動 (1位) 薬剤部、(2位) 放射線部、(3位) 手術部

入院診療録部門優秀賞

心身医療科、皮膚科、放射線科



看護部教育委員会

看護部には、看護職員約700名の教育を担うキャリア開発室が設けられています。キャリア開発室には、看護師長1名、副看護師長2名が専従で教育担当者として配置され、看護職員ひとりひとりの成長を支える役割を担っています。

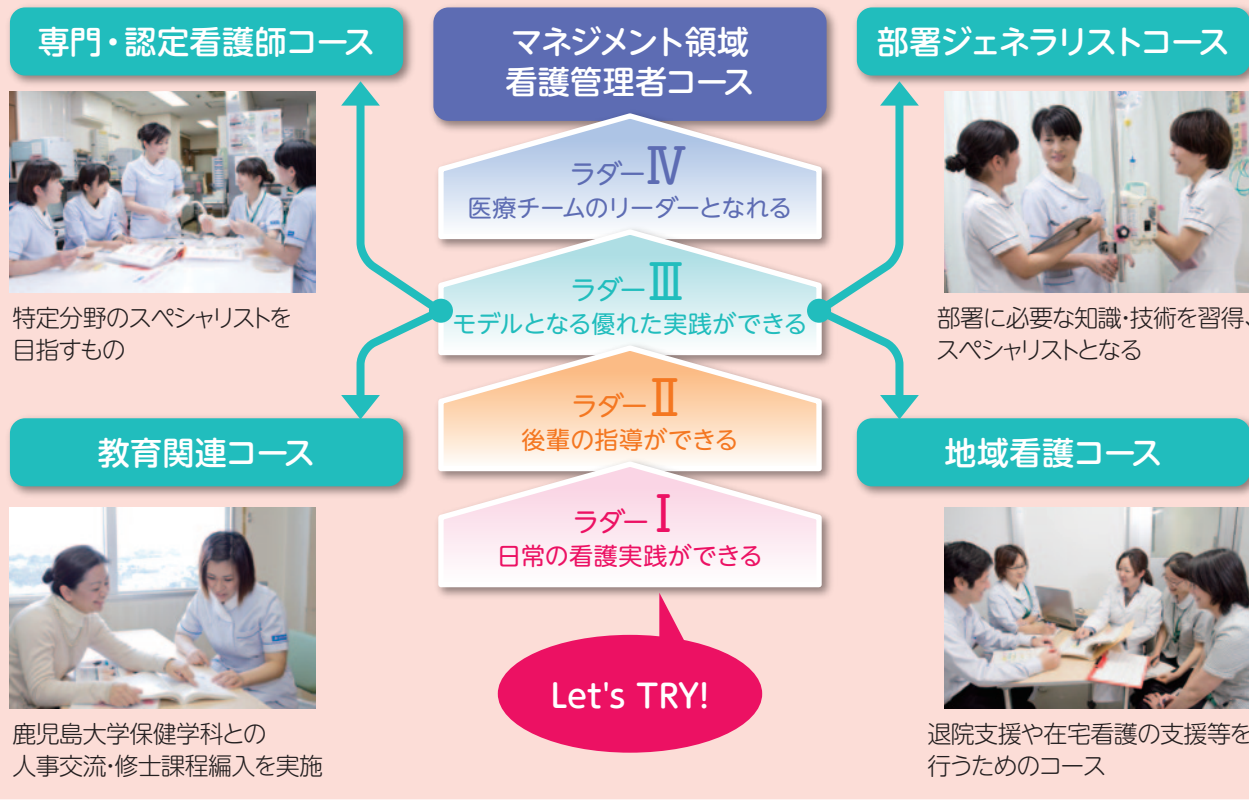
看護師の教育の柱は、新人教育とキャリアごとに選択できる教育です。看護師それぞれが看護のキャリアを積み重ねていけるように下記の図式での支援、キャリアパスを行っています。下記の図式にあるクリニカルラダーとは、個人の目標設定の指標となり、個人と組織の成長を支えるプログラムの一つです。



専門性の高い知識・技術を持った看護師を育成します。
主体的に学習・教育・研究する姿勢を持った看護師を育成します。
看護倫理に基づいた明確な看護観を持ち、行動する看護師を育成します。

キャリアパス図

看護師が自己の成長過程の全体像をイメージでき、多様なキャリア形成ができる支援システム



新人看護師の教育について



看護部の新人教育では、平成23年度よりローテーション研修を導入しました。国の新人看護職員研修ガイドラインに沿って実施されています。基礎研修は1～9まであり、採血、吸引法、救急蘇生法、褥瘡予防など、当院の認定看護師による優れた経験事例も踏まえて学習していきます。

看護師が一人前と言われるまでには3年を要するとされます。どうぞ温かく見守ってください。

新人研修の様子



接遇研修



技術研修：採血



救急蘇生法(年2回)

お惣菜の生きる姿

春の暖かい日差しを浴びながら、桜島の西岸にやってきました。溶岩の上に育ったクロマツの若芽がぐんぐん伸び、生命力の強さを一段と感じさせます。イソヒヨドリのさえずりを聞きながら、渚を歩き、海に入ります。陸上よりおよそふた月遅れて季節が進む海中はまだ冬の寒さです。勇気を出して海中を覗き込むと、澄んだ冷たい海中には、海藻が一面に繁茂し、海の中の森のようになっています。ホンダワラの仲間の海藻たちです。12月ごろ萌えた海藻は、ぐんぐんと伸び、今では海面を覆うほど育ちました。私は海藻の森に分け入りしました。海面からは所々木漏れ日のように日が差し、その中を今年生まれたばかりのドロメの幼魚たちが、群れ泳いでいます。私が近づくと、幼魚たちは一斉に海藻の枝の間に逃げ込みます。春の海藻の森は、幼魚たちを守るゆりかごのような存在なのです。

海藻の森の散歩を楽しんでいると、いきなり水面から腕が伸びてきました。腕は海藻を一束掴み、引き上げました。顔を上げると頬かむりをした地元のおばさん達が渚に集まって、海藻を採っているのです。岸近くに広がるこの海藻は、誰もが食べたことがあるヒジキなのです。これを乾燥し、バラバラにほぐしたものが、売られている乾燥ヒジキなのです。

私はもう一度水中に体を沈め、辺りを眺めました。春の日差しを浴びて波に揺れるヒジキの森は、あの食卓でお馴染みの黒い姿とは違い、とてもとても美しいものでした。



満潮時、波に揺れるヒジキ群落。大潮の干潮になるとヒジキは干上がってしましますが、それで枯れてしまう事はありません。

TOPICS

病院 再開発

現在の建物は築後30年以上が経過しているため、病院内施設の充実、患者さんの療養環境改善を目的に、平成19年度から建物の増築・改修を行っています。ご不便をおかけいたしますが、ご協力をお願いします。

新病棟の間仕切り設置工事

新病棟の間仕切り設置工事が始まりました。コンクリート打設工事の終わった低層階から間仕切り設置工事をしており、写真は平成25年2月現在の2階の様子です。銀色の間仕切り下地を境に、左側が病室、右側が廊下となります。



新病棟2階(平成25年2月現在)



新病棟外観(平成25年2月現在)

▶ 広報誌編集部会からのお知らせ

鹿児島大学病院の診療内容、病気について的一般知識など知りたいことがありましたら、お知らせください。

また、「桜ヶ丘だより」への皆様方からのご意見・ご感想をお待ちしております。

鹿児島大学病院広報誌 桜ヶ丘だより〈29号〉

2013(平成25)年4月発行

発行/鹿児島大学医学部・歯学部附属病院広報委員会広報誌編集部会

〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号 TEL 099-275-6692

【鹿児島大学病院ホームページアドレス】

<http://com4.kufm.kagoshima-u.ac.jp/>